

# 小池さん・田村さんら訴え

9日、日本共産党新宿地区委員会主催の講演会が行われ、私も総選挙後いただいた「どの町に住んでいても同じ医療の保障がほしい」などの要望に触れながら「あいさつ」しました。

大山とも子都議は、新しい都議会での都の姿勢の変化、小児病院存続に向けた民主党との共同の現状などについて報告しました。

参院比例で国政をめざす田村智子さんは、各県からの要請に同行し、国の対応も変化している様子や、仕事を失った青年の相談を受け、役所の窓口に行きながら「若者に住まいすら与えられない政治を変えよう」と熱く訴えました。

## 火事を消さずに「新しい家の設計図」

参議院での予算委員会での質問を終えて駆けつけた小池あきら参議院議員は、東京から国政に挑戦する決意を述べました。そして、後期高齢者医療制度について「一刻も早く廃止を」の国民の願いよりも「廃止に時間がかかる」との厚生労働省の言い分を優先する政府の姿勢や、60年間まったく拡充されていない保育所の面積基準を拡充するどころか、



(上) 寝返りも打てない保育所のお昼寝風景を示す小池議員 (下、左から) 田村さん、大山都議、富田

もっと狭い基準を認める鳩山政権の方針を批判しました。

子ども手当5・3兆円の一部を回しても

「待機児はつめこみではなく、保育所を増やして解消すべき」との小池さんの指摘に、保育園に子どもを預けている父親どうし、胸にぐっと来るものがありました。

70年代には年平均で793カ所増えていた保育所は、08年度は全国でわずか16カ所しか増えていません。自公政権下でおしつけられた、公立保育所の施設整備費・運営費一般財源化がなければ、自治体はもっと保育所を増やすことができたのです。

税金の使い方は医療、福祉優先に、集め方は大企業、証券優遇税制や軍事費にメスを入れよと迫れる日本共産党の議席が増えることがどうしても必要です。小池さん、田村さんをなんとして、も国政に送り出せるよう、私も全力でがんばります。

# 参院選で田村智子さん(比例)、小池あきらさんを東京から国政へ

## 急増する外国人の子どもにも言葉、

## 文化の壁 — 新宿区でシンポジウムに参加 —

10月17日、増え続ける外国人の子どもたちも飛び抜けて多い自治体です。

10月17日、増え続ける外国人の子どもたちも飛び抜けて多い自治体です。ちが直面する問題を考えるシンポジウム (主催・日中友好協会新宿支部、後援・新宿区、同区教育委員会) が開かれ、私も関心を持って参加しました。

新宿区は10月1日現在、外国籍の住民が11・02%、34993人。丁目によって人口のほぼ半数のところもあり、全国で

東京学芸大学大学院の研究者・李原翔さんは、外国人の65%は永住する可能性が高く、その子どもたちはお客さんではなく、日本社会の将来にとっても重要だと指摘。

外国籍の住民が11・02%、34993人。丁目によって人口のほぼ半数のところもあり、全国で (裏面に続く)

日本共産党衆議院東京1区国政対策委員長・若者相談室長



## 富田なおきの つながる通信

No.24 2009.11.15  
発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25  
TEL 03-3357-3392  
FAX 03-3353-4912  
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

## 富田なおき事務所の法律相談

- 11月20日(金)、12月18日(金)  
午後6時30分から
- 富田なおき事務所にて

新宿区住吉町11-25  
地下鉄都営新宿線曙橋駅から徒歩3分

弁護士が相談に応じます。  
事前にお電話でご予約ください。

TEL 03-3357-3392



## 畠田なおきの へのへのもへ路 ⑥



お台場の沖で

### 三ツ子で鑑賞知新

先日、千代田地区の牛尾こうじ

10月24日、あべ早苗区議と一緒に  
おじゃました「しんじゆくアジアの祭」で。手作りの民族楽器を  
売っていたので、打楽器とスライ  
ド式（トロンボーンと同じ原理）  
の笛を買い、我が家では息子もよ  
ろこんで鳴らしています。



1日、芝公園で行われた  
第21回みなと健康まつりに  
おじゃまし、党区議団といっ  
しょにごあいさつしました。  
私の右は熊田ちづ子区議。  
参加した皆さんからたくさ  
んの激励をいただきました！



ろう都政対策委員長と一緒に「第  
2回 江戸の川下り」というイベ  
ントに参加しました。  
ガイドを務めてくださったのが、  
最近も東京新聞に登場された、下  
町河川リバーガイドの会長、林福  
松さん。

浅草橋を出発、神田川から隅田  
川をへて小名木川に寄り、さらに  
日本橋川に入り東京の中心部を一  
周しました。江戸時代に幕府が有  
力な藩の力をそぐために命じた普  
請の跡が江戸城の石垣に残ってい  
ることも伺い、驚きでした。

1964年の東京五輪の時、高



左下の石には「丸に十の字」の島津家の家紋が

速道路を緊急に作る場所がないた  
め、川の上に作った話を聞き、オ  
リンピックにかこつけて大型  
開発がしたくてたまらないど  
こかの知事の顔を思い浮かべ  
てしまいました。



## 新宿共同墓地会の 墓参会に参加しました

静岡県の富士霊園には「新宿共同墓地会」  
の墓があり、新宿の日本共産党員と支持者  
やその家族（希望された方）が眠っていま  
す。

かつて新宿区百人町に住んでいた義父も  
この地に眠っており、10月18日、私も  
遺族の一人として墓参会に参加し、党の前  
進を誓ってきました。

（表面の続き）  
多様化する来日動機と困難さ

特に中国人の場合、親の来日動機  
が多様化するなか、呼び寄せて子が  
来日するケースも多いのが特徴です。  
親子が離れていた期間が長いことに  
よる言葉の問題、教育制度の違いで  
編入できない、親子が母語でコミュ  
ニケーションがとれない問題など、  
さまざまな要因で、学校に通っても  
日本語がわからず不登校になり、無  
力感、苛立ちなどから社会に適応で  
きなくなり、教育を受ける機会を逃  
して、社会に放り出されているとの  
報告は衝撃的なものでした。

現場は努力を続けているが

都教組新宿支部書記長の福原健二  
さんは外国人の子どもを受け入れた  
体験を語りました。「区内には日中  
英韓の4カ国語で学年便りを出して  
いる学校もあるが、頑張っている学  
校に逆に外国人の子どもが集中する  
ので、対応できる学校を増やしてほ  
しい」「区も努力してくれているが、  
30人以上の学級が多い現状では対応  
がどうしても不十分。少人数学級が  
どうしても必要」と強調されました。  
「しんじゆく多文化共生プラザ」  
課長の八木原良貴さんは「支援は現

場ごとに対応している。国の方針を  
決めてもらうのがベスト」と語りま  
した。  
少人数学級はもちろん、いっそう  
の手立てを政府に求めていきたいと  
思います。



詳細なデータを使い報告する李原翔さん